

財政健全化目標に用いられる指標①

＜ストックの指標＞ 債務残高対GDP比

「債務残高対GDP比」とは、国や地方が抱えている借金の残高を国内総生産(GDP)と比較して考える指標。経済規模に対する国・地方の債務の大きさを計る指標として、財政の健全性を図る上で重要視される。

＜フローの指標①＞ プライマリー・バランス(PB)

プライマリー・バランス(PB)とは、その時点で必要とされる政策的経費を、その時点の税収等でどれだけ賄えているかを示す指標。我が国の現状は、政策的経費が税収等を上回り、PBは赤字となっている(次頁図A)。

PBが均衡している状態(次頁図B)では、債務残高対GDP比の分子と分母は次のとおりに変動する。

PB均衡時には、債務残高は利払い費分だけ増加する。この利払い費は、「債務残高×金利」として計算される。したがって、PB均衡時の債務残高は、**金利**の水準に比例して増大していくこととなる。

債務残高

GDP

他方、GDPは**経済成長率**に比例して増減していく。

このため、「債務残高対GDP比」全体の変動は、「金利」と「経済成長率」の水準によって左右される。以上を整理すると次のとおり。

PBが均衡している状態では、

- ・ 金利 > 成長率 ⇒ 債務残高対GDP比は増加
- ・ 金利 = 成長率 ⇒ 債務残高対GDP比は一定
- ・ 金利 < 成長率 ⇒ 債務残高対GDP比は減少

→ 債務残高対GDP比を確実に引き下げするためには、PBに一定の黒字幅を持たせる必要がある。